

第149回例会、「梅池・雪見会」スキー報告

毎年、甲南大学・関西学院大学のOBが梅池の前田館にて続けているスキーに合流いたしました。ロプチン登頂以来我々の特別会員として活動いただいている、山本恵昭さんの仲介によるものでした。甲南、武田会長（飯田幹事）他20名近くと関学からの参加数人に金井健二さん他4人が加わり2日間、スキーと酒盛りで交流をしました。唯一の関大OBの橋本昭（ACKUの岳友）さんが加わった事で、“4K”会となりました。岳連時代の昔の交流、過去の遠征や遭難での助け合い話にも花が咲きました。ほとんどのメンバーが70歳前後の岳人ですが、山に対する「ほとばしる情熱」は衰えていませんでした。参加者の中の猛者4人が白馬乗鞍を踏破されました。



梅池チャンピオン・コ - スの斜面にて

(1) 時期・場所；2012, 1, 21~22 (日) 梅池民宿「前田館」

(2) ACKUからの参加者

井上達男、山本恵昭（お嬢さん）；21(土)~22(日)PM.

原田聡、橋本昭；各自にて、21(土)昼~23(月)朝

金井健二、田中信行、高田和三；21(土)夕~23(月)朝

* 梅池のゲレンデは素晴らしい(1日シニア券；3000円) 特に Gondola 終点(乗車；

20分} (梅の森) からの滑降はバラエティに富み、雪質も良く、国内最高である。

* 21日は、曇天であったが雲海の上から鹿島槍、五竜を眺めた。



前田館にて

武田雄三甲南山岳会・会長の挨拶で懇親会開始

- * 前田館は、建設時(30数年前)から、甲南の方達が定宿としておられ、貸切状態で美味しい料理と持ち寄りの地酒、ビール・焼酎・ウイスキーで大いに盛り上がった。
- * 80歳の金井さんが「最長老」で、関西の山岳界の話題豊富で面目躍如でした。お歴々から、是非来年は関西の山岳会の「宝」平井先生を連れて来いとこの要望が強かった。来年も元気な皆様、老いも若きも沢山参加いたしましょう。
- * 武田さん初め甲南の長老の皆様から「若手のエース；山本恵昭を神戸に取りこまれた」と愚痴られ、一同大笑いになった。
- * 金井、田中、橋本、高田の4人は、このあと、観光めぐりをし、原田さんの蓼科「岳友山荘」を訪問した(別紙掲載参照)。

ACKU例会担当；高田和三記

白馬・乗鞍岳奮闘記

参加メンバー；リーダー浪川(甲南67歳)、山本(大阪ぼっぼ会64歳)
小西(関学70歳)、橋本(関大69歳)

タイム記録

2012, 1, 22(日) 8時40分(前田館出発)~ゴンドラにて梅の森、
スタート9時40分~12時10分天狗原~乗鞍岳山頂(2436, 7m)(13時~13
時30分)~滑降開始、梅の森ゴール。

14時30分。ハンの木・からまつゲレンデ経由下山、前田館着15時30分。

行動概要

前田館の前から、オーナーの萩原さんにワンボックスカーでゴンドラ乗り場まで送っていただく。下山後もゲレンデで遊ぶつものため1日券(シニア3000円)を購入。梅の森までゴンドラ25分、さらにリフトを乗り継いで終点から林道へトラバース、スタート地点へ。既に2組が先着していた、大勢の外国人パーティの方は雪崩についてのレクチ

ヤーをうけていた。近年、このエリアにも外国からのボーダーやスキーヤーが増えている。まるでヨーロッパアルプスに来ているようだ。



早大小屋あたり（1700m）は未だ濃いガスに包まれていたが成城大小屋（1800m）まで上るとガス帯を抜けて頭上に青空がひろがった。ゲレンデは雲海の下である。2ピッチで天狗原に着く。大休止の後、乗鞍岳の大バーンをほぼ直登（ビンディングのヒールサポーターは最上段）。先行する単独スキーヤーのトレースはリッジ伝いに南の方へのびていてその頂稜からは自然園の方向に1本のシュプールが刻まれていた。そこから頂上への初トレースは浪川さんのつけたもので、すでに登りきったのか姿は見えない。

春には何度か来ているが厳冬期の山頂は初めてだ。感無量、ラッキーである。さてお楽しみの滑降だ、そのために登ってきた。しかし悪い予感は的中した。左の絵のようにパウダー“ルンルン”

とはゆかない。3月下旬を思わせる、重い湿雪の中でもがき、もだえ、ヨレヨレになって何とかボトムまで落下、「カフェテリア梅の森」へ転がり込んだ。

ベテランの御三方も申し合わせたように「もうエエわ」。ぼくだけではなかった、救われた気持ちでホッとした。

4人はその後、1本のリフトにも乗ることなく真っ直ぐ帰館した。ひたすらビールを目指して。

（絵と分；橋本昭 記）

追記；我々ACKUメンバーは、元気な若手（井上達男、山本恵昭；特別会員）は当日PM帰阪のため参加出来ず。ルートル組みは、初参加の緊張と昨日の「懇親パーティ」の疲れもあり、参加しなかった。しかし、参加しておれば「無様な姿」を披露したことでしよう。

（高田和三 記）

「岳友山荘」訪問記



我々の敬愛する自由人原田聡さんが、念願の別荘を取得されました。蓼科山（2480m）の南側、蓼科高原別荘地です。周りには、数々の温泉、スキー場が沢山あります。数箇所のゴルフ場もあります。標高 1500m に位置しますので、夏の避暑にも格好です。

奥様（容子様）が昨年退職されたのを機に「終の棲家」として購入されました。愛犬「ピース」号とお二人の住まいです。スキー、溪流釣、温泉にと第 4 ラウンドの人生を満喫するお覚悟のようです。誠にうらやましいかぎりです。

別荘地の中、瀟洒な一軒家で、4 - 5 人の STAY は誠に快適です。

「岳友山荘」の名の如く、精々利用させていただきます。長期ステイで老後のストレス解消を請合います。

（1）連絡先等

〒391-0301 長野県茅野市北山十文字平 292

（中央高速、諏訪インターから 30 分、JR 茅野駅からバス有り）

原田聡（携帯 TEL ; 090-2358 - 7177）

（2）訪問記報告

ACKU 例会 149 回、梅池・雪見会（甲南、関学の OLD BOY の毎年恒例のスキー大会に合流）の後、訪問いたしました。

- * 参加者4人； 金井健二、田中信行、橋本昭（関大OB・HNA会員）高田和三。
- * 2012, 1, 23；上諏訪温泉「片倉館」入浴、見学の後、「岳友山荘」へ。
同24日；ブランシュ高山にてスキー（シニア割引3000円）晴天で富士山眺望
湯川温泉「河童の湯」入浴、隣人の青木宏安様（関学OB）合流後パーティ
- * 雪質きわめて良好、八ヶ岳・富士・南アルプス連山の眺望を堪能した。山の話、スキー
談義、はたまたソルトレイクの顛末記、加えて青木さんの正調「安曇節」を おいしい
酒と奥様の心のこもった料理の下にいただいた。同25日；記念撮影の後解散した。

2012,2,5. 高田和三 記)



愛犬「ピース」(ラブラドル)を挟み原田聡・容子夫妻



愛犬「ピース」(ラブラドル)
を挟み原田聡・容子夫妻

絵 橋本昭